

編集後記

本雑誌は、もともと東洋大学が人民大学（中国）、金剛大学校（韓国）と結んだ学術協定に基づいて、毎年、東洋学研究所（東洋大学）・仏教与宗教学理論研究所（人民大学）・仏教文化研究所（金剛大学校）の共催の形で開催されることになった国際シンポジウム「日・中・韓 国際仏教学術大会」の成果を社会に還元するために創刊されたが、その後、新型コロナのパンデミック等の社会情勢の変化に合わせて東アジア仏教研究の専門誌として生まれ変わった。本号はその第三弾であるが、本年度は、中断していた「中・日・韓 国際仏教学術大会」が再開されたことにより、この国際シンポジウムでの「発表論文」「コメント」「コメントへの回答」を掲載する特集号となった。なお、この国際シンポジウムは、当初から、10回の開催を目標に始められたものであるから、今回の第10回大会の開催によって、このプロジェクトは完結した。そのため、今回に限って「記念号」と銘打ち、全10回の学術大会のテーマと発表論文の一覧、ならびに発表者とコメントーターの一覧を作成して附録とした。

この一覧を見て分かるように、大会のテーマは多方面にわたり、発表論文は百篇に近く、発表者とコメントーターのみで百人を優に超えている。これに司会者、論文の翻訳者、会場での通訳、運営協力者等を加えれば、関係した研究者は二百数十人に達し、更に会場を訪れた聴衆を加えれば数百人がこのプロジェクトに参加したことになろう。日本の東洋大学・中国の人民大学・韓国の金剛大学校という三箇国の三大学が共催する仏教に関する学術的シンポジウムという点だけでも前例のないものであったが、こうして振り返ってみると、このプロジェクトがいかに規模が大きく、また、長期にわたるものであったかが分かるであろう。第1回から第10回まで日本側の責任者として本プロジェクトに関わってきた者としては、このプロジェクトが三箇国の今後の仏教研究の進展に寄与することを切に願ってやまない。

長年にわたって開催してきた国際シンポジウム、「日・中・韓 国際仏教学術大会」が本年度に開催された第10回をもって完結したことは既に述べたが、もう一つ、読者諸賢にお知らせしなくてはならないことがある。それは、本誌、『東アジア仏教学術論集』も、本号をもって終刊となるということである。それは必ずしも国際シンポジウムの満了と連動するものではなく、雑誌を編集・発行してきた責任者である私が来年度に定年を迎えるため、科研費ならびに学内の研究プロジェクトに応募する資格を失っており、資金的な目途が立たないからである。国際シンポジウムの開催、雑誌発行の継続等を私の後任に委ねたい気持ちはあるが、この十数年間に自分が行ってきた苦勞を考えると、それはあまりに酷であるようにも思う。こうしたわけで、『東アジア仏教学術論集』の刊行を止めざるを得ない。読者諸賢の寛恕を請う次第である。

最後に、参考に供するため、次ページ以下に「中・日・韓 国際仏教学術大会」の記念すべき第10回大会のプログラムを付しておく。

（伊吹 敦）

第10回 中・日・韓 国際仏教学術大会
「東アジアにおける仏教交流の歴史と未来」プログラム

会場：中国・福建省福州市・鼓山湧泉寺・福建海峡仏教文化交流センター
期日：2023年10月28日～29日

10月28日（土）

9:00～9:30 開会式 司会：張文良（中国・人民大学教授）

- 1 歓迎の辞：張風雷（中国・人民大學仏教与宗教学理論研究所所長）
- 2 式辞：菅野博史（日本・創価大学教授）
- 3 式辞：伊吹敦（日本・東洋大学教授、東洋学研究所研究員）
- 4 式辞：高承学（韓国・金剛大学校仏教文化研究所所長）

9:30～10:00 記念撮影・休憩

10:00～11:00 基調講演：王邦維（中国・北京大学教授）

11:00～12:00 伊吹敦（日本・東洋大学教授）

「初期禪宗史解明のための国際協力の必要性」

司会：楊勇（中国・雲南大学教授）

コメンテーター：楊維中（中国・南京大学教授）

12:00～14:00 昼食・休憩

14:00～15:00 高承学（韓国・金剛大学校教授）

「東アジア華嚴教学における「数十法」の解釈」

司会：張凱（中国・寧波大学副教授）

コメンテーター：邱高興（中国・計量大学教授）

15:00～15:10 コーヒーブレイク

15:10～16:10 楊維中（中国・南京大学教授）

「玄奘と新・旧訳論争新論—あわせて玄奘とその弟子の「宗派性」を論ず—」

司会：徐文明（中国・北京師範大学教授）

コメンテーター：紀華伝（中国・社会科学院教授）

16:10～16:20 コーヒーブレイク

16:20～17:20 菅野博史（日本・創価大学教授）

「『維摩經玄疏』卷第二における三観と天台思想」

司会：李海波（中国・西北大学教授）

コメンテーター：張文良（中国・人民大学教授）

18:00 晚餐

10月29日（日）

8:50～9:50 佐藤厚（日本・東洋大学東洋学研究所客員研究員）

「韓国における国際仏教学術会議—金知見博士主催の大会と3か国学術会議の比較—」

司会：王公偉（中国・魯東大学教授）

コメンテーター：張雪松（中国・人民大学教授）

9:50～10:00 コーヒーブレイク

- 10:00～11:00 張雪松（中国・人民大学教授）
「中韓初期弥勒信仰の形態的相似性—天台智顛の僧団における弥勒信仰の実践を端緒として—」
司会：張雲江（中国・華僑大学教授）
コメンテーター：高承学（韓国・金剛大学校教授）
- 11:00～11:10 コーヒーブレイク
- 11:10～12:10 張風雷（中国・人民大学教授）
「五代宋初における天台教籍の中国への還流について」
司会：史経鵬（中国・中央民族大学教授）
コメンテーター：菅野博史（日本・創価大学教授）
- 12:10～14:00 昼食・休憩
- 14:00～15:00 李承南(光道)（韓国・金剛大学校教授）
「智顛の『四教義』と諦観の『天台四教儀』の比較研究」
司会：李宜静（中国・華南師範大学副教授）
コメンテーター：韓劍英（中国・北京信息科技大学副教授）
- 15:00～15:10 コーヒーブレイク
- 15:10～16:10 張文良（中国・人民大学教授）
「中国涅槃宗における二諦説」
司会：唐嘉（中国・中国芸術研究院研究員）
コメンテーター：董群（中国・東南大学教授）
- 16:10～16:30 コーヒーブレイク
- 16:30～17:00 閉会式 司会：張文良（中国・人民大学教授）
1 式辞：菅野博史（日本・創価大学教授）
2 式辞：伊吹敦（日本・東洋大学教授、東洋学研究所研究員）
3 式辞：高承学（韓国・金剛大学校仏教文化研究所所長）
4 閉会の辞：張風雷（中国・人民大学仏教与宗教学理論研究所所長）
- 17:30 晚餐